

(一社)日本ロボットシステムインテグレーション協会 会長 久保田 和雄

### 地方・海外・学生へロボ普及強化



昨年は新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが、季節性インフルエンザ等と同等の5類に移行し、経済活動がいよいよ本格的に再開いたしました。これに伴い、小売業や観光業

などを中心に様々な業界で人手不足が顕在化し、自動化に大きな注目が集まる年となりました。年末の国際ロボット展は、過去最多の企業の出展と来場者を迎えた。このように、日本ロボットシステムインテグレーション協会(以下、Sier協会)は設立から5年、一昨年から続く地政学的な緊張や世界的な物価の高騰が続きました。設立以来、「ネット

3つの目標を付加することとした。本年もこれらの目標のもと、ロボットシステムインテグレーション業界の発展、自動化の推進、ひいては我が国の生産性向上のため全力を尽くしてまいります。以下、事業に関する紹介させていただきます。

①地域ロボット導入支援機関との連携・Sier協会は北海道から沖縄まで日本全国300社の会員が所属する全国組織です。設立より地域のSier間の交流を図るとともに地方行政とのつながりを強めるイベント「Star's Day」を日本全国で開催しております。昨年は北海道から九州まで全国10カ所で開催しました。本年はこの活動を一層発展させ、地域のロボット導入支援機関とのより強い関係を築くべく活動を行ってまいります。

②ロボットSier検定3級の海外展開・経済産業省の「制度・事業環境整備事業」を活用し、昨年よりタイにおけるロボットSier検定3級開催の準備を進めて参りました。本年プレ実施を行いたいと考えております。今後タイへの進出を足掛かりに、国際検定化を図り、東アジア各国への展開を目指します。

③生徒も受験可能な検定制度の創設・これまでエンジニアの実務レベルを測る検定として設計・実施を行ってきたロボットSier検定ですが、工業高校等教育機関からの強い要望もあり、初学者も受験可能な検定を新設するべく検討を開始します。次代を担う若者へロボットシステムインテグレーションの魅力を伝えることができればと考えます。

その他、ロボットアイデア甲子園の開催やロボットSier基礎講座の開催など既存事業は引き続き行っております。300社の志を同じくする仲間とともに自動化業界及び我が国の生産性向上の発展のため邁進して参りますのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます。